

議長ステートメント概要

1. 前文

- 会合の内容（開催日時，場所，共催者，参加者等）
- 日本で起きた震災も含む地球規模課題に対応する上での連帯の重要性
- TICAD 閣僚級フォローアップ会合への言及

2. MDGs 達成における効果的なアプローチ

- 衡平性
- 進捗が遅れている MDGs の加速化

3. 加速化のための鍵

3-1 保健及び関連 MDGs の成果の加速化

- 母子保健，三大感染症，三大感染症以外の疾病，母子保健支援モデル EMBRACE

3-2 教育及び関連 MDGs の進捗の加速化

- 教育の質の向上と教育における衡平性の確保，基礎教育支援モデル「スクール・フォー・オール」

3-3 実施ギャップの解消：国，コミュニティ・ベースのアプローチ

- 実施における障がいとそれを取り除くための方策

3-4 持続的で包括的かつ衡平な経済成長のためのパートナーシップ

- 持続的で包括的かつ衡平な経済成長とその実現のための開発協力の重要性

4 分野横断的な課題

- 気候変動
- 食料安全保障
- 人間の安全保障

5. 今後進むべき道

5-1 努力の結集

- 本成果文書の内容を他の開発関連フォーラムにインプットする重要性
- 先進国ドナーのみならず，あらゆるステークホルダーが貧困削減の手段を有していることの強調

5-2 より長期的な合意の刷新

- MDGs の達成が国際社会にとって最重要課題の一つであることの再確認
- 気候変動や食料安全保障など新たな課題に対する認識
- 2015 年までの MDGs 達成及び 2015 年以降における成長の重要性 (了)